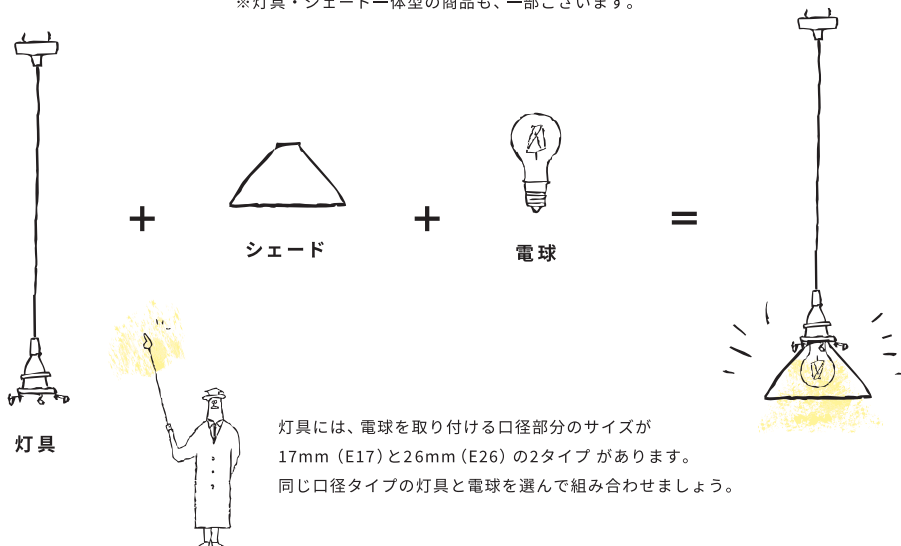


| 照明の選びかた |

Point 1 自分好みのデザインを選ぼう

アクセスの照明は、複数の灯具・シェード・電球から好きなデザインを組み合わせさせてお使いいただけます。

※灯具・シェード一体型の商品も、一部ございます。

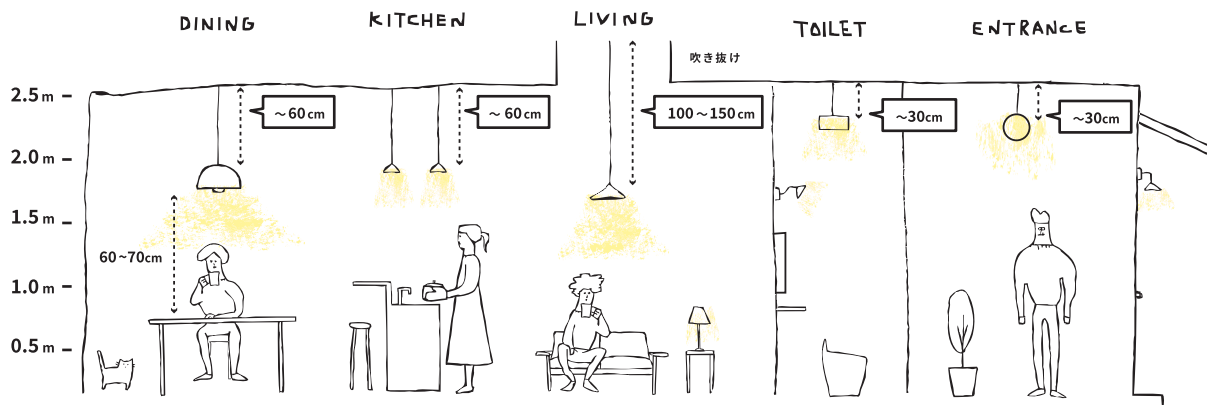


Point 2 灯具の長さを選ぼう

天井から吊り下げるペンダントタイプの灯具を使用する場合は取り付ける空間にちょうどよい長さを選びましょう。

- 玄関・洗面所・お手洗いなど、高い位置から照らしたい…~30cm
- キッチンカウンターやダイニングなど、手元を照らしたい…~60cm
- 天井が高い部屋、低い位置に照明を持ってきたい…100cm~150cm

※上記は天井高を一般的な2.5mとした場合に目安となるコード長の例です。



Point 3 空間に合わせて選ぼう

ENTRANCE

玄関の照明は「圧迫感」を少なく。

玄関は人が出入りする「家の顔」となる場所。ここで気をつけたいのが灯具の長さです。長すぎると圧迫感を感じたり、大きな荷物を運び入れる際に危ない可能性もあるので、玄関には30cmまでの短めor直付けの灯具を付けるのがおすすめです。天井高が2.4~2.5mの場合、床から約2.2m前後の高さに照明を設置すると最適な位置になるでしょう。



KITCHEN

キッチンカウンターの照明は小振りのシェードを並べて配置。

キッチンは、カウンター上に複数の照明を並べて設置するのがおすすめです。手元を明るく照らしてくれる効果はもちろん、リズムカルに並ぶあかりは空間のアクセントとなります。小振りなシェードを60cm灯具に組み合わせるとバランス良くおさまりますが、大きめのシェードを組み合わせる場合は、灯具は30cm以内の長さを選ぶとよいでしょう。



DINING

シェードの素材で変化するダイニングのあかり。

ダイニング照明はテーブルの中央、少し低めの位置に吊るします。互いの顔やテーブルに並んだ料理がきれいに照らされ、食卓が暖かい雰囲気となるからです。コード長60cmの灯具を使用し、テーブルから60~70cmほどの高さに設置するのが一般的。素材によって光の落ち方が違うので、好みによって素材を選ぶと良いでしょう。



TOILET

「狭さ」を生かして選ぶトイレの照明。

狭い空間になることが多いトイレでは、照明も空間全体の雰囲気を作り上げる大きな要素です。天井直付け照明や、15cm~30cmの灯具、壁付けのブラケット灯具を使ってOKです。手洗器やミラーの上にブラケット照明を設置して、手元の明るさや顔写りを良くするのもおすすめです。



LIVING

シーンによって使い分けるリビングのあかり。

リビングは、1つの照明で部屋全体を照らすより、ダウンライトを含めた複数の明かりを組み合わせ、空間を立体的に見せるのがおすすめです。ペンダント灯具は、30cmタイプを使って、床から2~2.5mの少し高めのところを設置すると圧迫感を抑えられます。天井が吹き抜けの場合は100cm、150cmの灯具を使って調整します。

